

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 教育企画課				
事業名			教育振興基本計画策定事業						
事業区分		新規事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		①委員等謝礼		461	430	0	31	93.0%
	② 旅 費		②普通旅費		189	189	0	0	100.0%
	③ 委 託 料		①業務委託料 (物件費)		3,774	3,245	0	529	86.0%
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				3,864	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当/頁	258
	臨時会 補正	第 2 回臨時会	⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				3,864	該当/頁	259
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	3,864		0	0	0	0	3,864		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	社会状況が大きく変化し、新たな教育課題への対応が求められる中、本市の教育のめざすべき姿と進むべき方向性を定め、中期的かつ総合的な展望を持ち、三次市の教育行政を計画的・体系的に進めるため、三次市教育大綱・三次市教育振興基本計画を一体的に策定する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	報償費 (①委員等謝礼) 429,600円 ・教育振興基本計画策定懇話会 3回開催 旅費 (②普通旅費) 188,960円 ・先進地視察 (埼玉県戸田市) 委託料 (①業務委託料 (物件費)) 3,245,000円 ・三次市教育振興計画策定業務 (履行期間: 令和5年10月23日~令和6年3月29日) みよし学びの共創プラン (計画期間: 令和6年度~令和10年度) 基本理念: 高い志をもち 夢や目標に向けて挑戦し 自立を図るとともに 多様な共創により住み続けたいまち三次を実現する心豊かでたくましくつくり 基本方針: 1 子どもの未来応援 2 豊かな心と生きがい 3 多文化・共生 スローガン: みよし結芽人~幸輝心~ 方向性: (1)自立 (2)共創 (3)Well-Being (4)情報発信 (5)DX 基本施策: (1)新しい時代に求められる資質・能力や確かな学力の育成 (2)多様な居場所や学びの場の創出 (3)学校・家庭・地域等の連携協働 (4)魅力ある教育環境の整備・充実 (5)心の豊かさを育む文化芸術の振興 (6)魅力あふれる歴史・伝統・文化の保存と活用 (7)生涯の学びを支える環境の充実								
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	基本理念に基づき、将来の予測が困難な時代において、子どもを含めて市民一人ひとりが、未来に向けて主体的に課題に向き合い、持続可能な社会を維持・発展させていく創り手となることをめざし、本市の関連政策と一体的な取組を進めるため、教育施策の基盤となる方向性を定めた。								



款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 教育企画課				
事業名			三次小学校改築事業（小中学校老朽化対策事業）						
事業区分		継続事業（拡充）		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 役 務 費		④手数料		2,101	1,973	0	128	94.0%
	② 委 託 料		①業務委託料（物件費）		5,000	4,211	789	0	84.0%
	③ 委 託 料		④調査測量設計監理等委託料		98,366	92,637	0	5,729	94.0%
	④ 工事請負費		①工事請負費		975,493	963,782	11,711	0	99.0%
	⑤ 負担金、補助及び交付金		④負担金（その他）		1,000	0	1,000	0	0.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡			1,062,603	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 ➡			88	該当／頁	260,261	
	臨時会 補正	第 2 回臨時会	⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 ➡			1,062,691	該当／頁		
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		屋内運動場改修設計業務の入札が、応札業者がなく不調となったため。							
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	1,062,691		2,528	2,528	1,049,300	0	8,335		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		子ども・子育て支援施設整備交付金						
	県支出金		子ども・子育て支援施設整備交付金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）		児童の良好な学習環境や生活環境を確保するため、老朽化した三次小学校の改築に向け、基本・実施設計業務を終え、建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事及び工事監理業務に着手した。							
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	役務費（④手数料）								
	名称		金額		指定確認検査機関		備考		
	構造計算適合判定手数料		329,000円		株式会社建築構造センター				
	確認申請手数料		521,000円		日本 E R I 株式会社				
	確認申請手数料		585,600円		日本 E R I 株式会社		繰越明許		
	建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料		217,800円		日本 E R I 株式会社				
	仮設校舎仮使用認定手数料		320,000円		日本 E R I 株式会社				
	委託料（①業務委託料（物件費））								
	業務名		金額		契約業者		備考		
	一般廃棄物分別運搬業務		2,279,530円		土井建材有限会社				
	物品等運搬業務		1,727,000円		株式会社サカイ引越センター				
	地下タンク内残油抜き取り清掃業務		203,500円		株式会社天野商店				
	委託料（④調査測量設計監理等委託料）								
	業務名		金額		契約業者		備考		
	改築工事基本・実施設計業務		89,155,000円		株式会社あい設計		繰越明許		
	プール改修設計業務		1,779,800円		佐伯建築設計事務所		繰越明許		
	家屋等事前調査業務		1,702,800円		株式会社タマルコンサルタント				
	次ページに続く								

工事請負費（①工事請負費）			
工事名	金額	契約業者	備考
建築主体工事	739,200,000円	株式会社加藤組	
機械設備工事	126,720,000円	備北設備工業株式会社	
電気設備工事	94,600,000円	三次電工株式会社	
仮設校舎電話・LAN設置工事	2,233,000円	株式会社チュウセツシステム	
警備機器移設工事	712,800円	広島総合警備保障株式会社	
アンテナ移設工事	315,700円	三次電工株式会社	



（三次小学校 仮設校舎）



（三次小学校新校舎 パース図）

別添資料等
無
(事業一覧等)

成果/評価
* 事業を執行了
ことにより、どのよう
な成果や効果をもち
たらしたのか

令和7年9月からの新校舎供用開始に向けて、仮設校舎の建設、既存校舎の解体工事を進めた。
仮設校舎という新しい環境で学習・生活を開始するに当たっては、機器移設や引越し作業を行い、学校運営に支障がないよう事業を進めることができた。

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名 教育部 教育企画課						
事業名			十日市小学校等改築事業（小中学校老朽化対策事業）						
事業区分			継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		①委員等謝礼		828	130	0	698	16.0%
	② 旅 費		①費用弁償		28	0	0	28	0.0%
	③ 旅 費		②普通旅費		38	4	0	34	11.0%
	④ 需 用 費		③食糧費		18	3	0	15	17.0%
	⑤							0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） → 137					決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 0					該当/頁	260,261
	臨時会 補正	第 2 回臨時会	⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 → 137					該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	137		0	0	0	0	137		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			児童生徒の良好な学習環境や生活環境を確保するため、老朽化した十日市小・中学校の改築の検討に向け、プロポーザル方式により事業者の選定を行い、基本構想・基本計画策定業務に着手した。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等			報償費（①委員等謝礼） ・プロポーザル審査委員謝礼 130,200円 旅費（②普通旅費） ・プロポーザル審査委員就任依頼 3,300円 需用費（③食糧費） ・プロポーザル審査委員お茶 3,000円  (十日市小学校)						
別添資料等 無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			老朽化した十日市小学校等の改築に向けて、まず基本構想・基本計画の策定として事業者を選定し、業務をスタートすることができた。						

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			学校施設整備事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委 託 料		④調査測量設計監理等委託料		926	286	0	640	31.0%
	② 工事請負費		①工事請負費		60,364	50,573	3,521	6,270	84.0%
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) ➡		50,859		決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		0		該当/頁	260,261	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡		50,859		該当/頁		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		入札残							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	50,859		7,229	0	14,200	0	29,430		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		学校施設環境改善交付金						
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		特別な配慮が必要な児童・生徒が学習する特別支援学級の新設に係る教室整備をはじめ、各学校の学習環境の整備を行った。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (④調査測量設計監理等委託料)								
	三和中学校屋内運動場天井等改修工事監理業務				286,000	佐伯建築設計事務所			
	工事請負費 (①工事請負費)								
	工 事 名		金 額		請負業者		備 考		
	三和中学校 屋内運動場天井等改修工事		21,186,000		株式会社藤井工務店				
	三良坂中学校 校舎屋上防水改修工事		4,293,300		有限会社三次シリコン				
神杉小学校 特別支援教室改修工事		3,111,900		株式会社藤井工務店		繰越明許			
その他施設修繕工事		21,982,287				繰越明許・現年			
合 計		50,573,487							
別添資料等 無 (事業一覧等)									
		三和中学校 屋内運動場天井等改修工事		三良坂中学校 校舎屋上防水改修工事					
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか		児童・生徒が、安全・安心な環境で学習することのできる学校施設を整備することができた。							

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			学校周辺整備事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委 託 料		④調査測量設計監理等委託料		500	297	0	203	59.0%
	② 工事請負費		①工事請負費		33,601	29,429	0	4,172	88.0%
	③ 備品購入費		③その他備品購入費		1,356	1,270	0	86	94.0%
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正	12 月補正	⑥ (①~⑤の計) → 30,996				決算に関する説明書		
	9 月補正	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 → 0				該当/頁	260,261	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 30,996				該当/頁		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		入札残							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	30,996		0	0	29,700	0	1,296		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		三次中学校のグラウンドが手狭であり、体育の授業及びクラブ活動等に支障が生じているため、新たに学校の近隣の土地を購入し、テニスコートを整備し、グラウンドも整備することで、教育施設の充実を図るものである。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (④調査測量設計監理等委託料)								
	業 務 内 容		金 額		契 約 業 者		備 考		
	グラウンド整備工事監理業務		297,000		原井隆建築設計事務所		繰越明許		
	工事請負費 (①工事請負費)								
	工 事 名		金 額		請 負 業 者		備 考		
	三次中学校 グラウンド整備工事		29,429,400		白鳥商事有限会社		繰越明許		
備品購入費 (③その他備品購入費)									
備 品 名		金 額		契 約 業 者		備 考			
バットینگゲージ		1,269,999		細川スポーツ事業部		繰越明許			
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか		令和 4 年度に三次中学校テニスコート整備工事を完了し、令和 5 年度に三次中学校グラウンド整備工事を完了し、バットینگゲージを購入し、教育施設の充実を図ることができた。							

款	項	目							
10	6	3							
			担当部局・課名	教育部 学校教育課					
事業名			調理場施設設備等整備事業						
事業区分			継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 工事請負費		①工事請負費		9,490	8,227	0	1,263	87.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			8,227	決算に関する説明書	
	9 月補正	○	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 →			0	該当/頁	288,289
	臨時会 補正			⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →			8,227	該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			調理場の厨房機器移設工事が見込みを下回ったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	8,227		0	0	0	0	8,227		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			児童・生徒に安全・安心な給食を提供するため、学校給食共同調理場の設備改修を行った。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	工事請負費 (①工事請負費)								
	工 事 名				金 額		請負業者		
	甲奴学校給食共同調理場 給湯機更新工事				4,970,900		株式会社中電工三次営業所		
	各学校給食共同調理場 厨房機器修繕工事				1,439,350		有限会社総合厨房設計		
	その他設備修繕工事				1,817,200				
	合 計				8,227,450				
別添資料等 無 (事業一覧等)			 甲奴学校給食共同調理場 給湯器更新工事						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか			学校給食共同調理場の設備改修を行い、児童・生徒に安全・安心な給食を提供することができた。						

款	項	目							
10	2・3	1	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			スクール便運行事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委 託 料		①業務委託料（物件費）（小学校）		127,447	125,656	0	1,791	99.0%
	② 委 託 料		①業務委託料（物件費）（中学校）		3,082	2,680		402	87.0%
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡				128,336	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡				0	該当／頁	264,265
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 ➡				128,336	該当／頁	266,267
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			スクール便を利用する児童が見込みより少なかったため。						
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	128,336		973	194	0	0	127,169		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		へき地児童生徒援助費等補助金						
	県支出金		小中学校教育環境充実支援事業補助金（遠距離通学費補助事業）						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			学校統廃合に伴う遠距離通学の児童・生徒（一部保育所を含む。）の通学手段を確保するため、バス・タクシーによるスクール便を運行した。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	委託料（①業務委託料（物件費））（小学校）（中学校）								
	学 校 名		路線数	利用人数	金 額		備考		
	三次小学校		2	13	3,648,790				
	粟屋小学校		1	3	537,090				
	川西小学校		1	6	2,005,900				
	川地小学校		1	8	3,509,000				
	布野小学校		1	10	7,998,385				
	作木小学校		4	54	36,672,522				
	吉舎小学校		3	27	15,453,550				
	みらさか小学校		4	40	19,729,120				
	三和小学校		4	45	29,675,718				
	甲奴小学校		2	12	7,195,430				
	君田小学校		2	9	1,199,395				
別添資料等 無 （事業一覧等）	塩町中学校		1	15	711,040				
合 計		26	242	128,335,940					
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			バス・タクシーを含め、26路線のスクール便を運行し、学校統廃合に伴う遠距離通学の児童・生徒（一部保育所含む。）242人の通学手段を確保することができた。						

款	項	目						
10	6	3						
			担当部局・課名	教育部 学校教育課				
事業名			学校給食調理場整備事業					
事業区分			第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 需用費		①消耗品費	40,310	40,296	14	0	100.0%
	② 委託料		④調査測量設計監理等委託料	18,963	18,309	654	0	97.0%
	③ 使用料及び賃借料		⑨その他使用料及び賃借料	1,076	1,076	0	0	100.0%
	④ 工事請負費		①工事請負費	1,259,327	1,133,094	126,233	0	90.0%
	⑤ 備品購入費		③その他備品購入費	167,285	139,745	27,540	0	84.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) →			1,332,520	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			449	該当/頁	288,289
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			1,332,969	該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和5年度	1,332,969		125,610	0	1,084,900	0	122,459	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金		学校施設環境改善交付金					
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	児童・生徒に安全・安心な学校給食を安定的に提供することを目的として、令和5年度2学期から三次市三次学校給食センターを稼働するため、建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事、外構工事、受配校改修工事を行い、調理に必要な厨房器具、給食配送車7台、食器、食缶、食器カゴ等を購入した。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	需用費 (①消耗品費)							
	厨房器具、食器、配膳器具ほか 40,295,680円							
	役務費 (④手数料)							
	建築物完了検査手数料ほか 449,400円							
	委託料 (④調査測量設計監理等委託料)							
別添資料等	新調理場建設工事監理業務ほか 18,309,500円							
	使用料及び賃借料 (⑨その他使用料及び賃借料)							
	栄養計算・給食管理システム 1,075,800円							
	工事請負費 (①工事請負費)							
	建築主体工事 596,039,400 (株)加藤組							
無 (事業一覧等)	電気設備工事 155,892,000 光栄電気(株)			三次市三次学校給食センター				
	機械設備工事 298,091,200 (株)中電工・備北設備工業(株) J V							
	外構工事ほか 83,071,450 (株)沖原建設ほか							
	備品購入費 (③その他備品購入費)							
給食配送車、食缶、食器カゴほか 139,745,298円			野菜の下処理の様子					
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	三次市三次学校給食センターの建設工事、外構工事、受配校改修工事を行い、給食の調理や配送に必要な消耗品及び備品を購入し、令和5年度2学期から市内小学校12校及び中学校5校に、安全・安心な学校給食を安定的に提供することができた。							

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			学校支援員等配置事業（市費教員・学校支援員等・障害児介助指導員）						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		④会計年度任用職員報酬		99,729	97,600		2,129	98.0%
	② 職員手当等		⑬一般職期末手当		22,736	17,197		5,539	76.0%
	③ 旅 費		①費用弁償		5,274	4,329		945	82.0%
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正	12 月補正	⑥（①～⑤の計） ➡ 119,126				決算に関する説明書		
	9 月補正	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 ➡ 0				該当／頁	258	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 ➡ 119,126				該当／頁	259	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			勤務日数が当初の見込みと異なったため。						
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	119,126		0	0	0	0	119,126		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			個々の児童生徒の教育的ニーズに応じた指導や支援を行うことで、児童生徒に確かな力を身に付けさせるとに、学習意欲の向上を図る。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	報酬（④会計年度任用職員報酬） 市費教員（非常勤講師） 7,419,930円 学校支援員（教育支援員） 52,427,380円 障害児介助指導員 37,752,685円 職員手当等（⑬一般職期末手当） 市費教員（非常勤講師） 220,542円 学校支援員（教育支援員） 10,005,648円 障害児介助指導員 6,970,334円 旅費（①費用弁償） 市費教員（非常勤講師） 496,511円 学校支援員（教育支援員） 2,077,048円 障害児介助指導員 1,756,242円		【市費教員（非常勤講師）】 ・複式学級を有する小学校に理科支援員および外国語指導員を配置し、指導の充実を図った。 【学校支援員（教育支援員）】 ・発達障害等のある特別な支援を必要とする児童生徒や生徒指導上の課題を抱える児童生徒など、通常の学級に在籍する特別な配慮が必要な児童生徒への支援・指導の充実を図るため、12校28人を配置。 ・また、教務事務補助員を3人配置し、担任などの印刷業務等に係る業務の軽減を図った。 【障害児介助指導員】 ・障害のある児童生徒の学習・生活介助等のため、23人を配置。						
	別添資料等 無 （事業一覧等）								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			きめ細やかな指導により、三次市学力学習到達度検査における市平均正答率は全国平均正答率を5.7ポイント上回った。 また、よりよい支援に結び付けるため、学校支援員や障害児介助指導員等の研修を実施している。						

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			特別支援活動充実事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		③非常勤職員報酬		187	86		101	46.0%
	② 報 酬		④会計年度任用職員報酬		3,149	3,149		0	100.0%
	③ 職員手当等		⑬一般職期末手当		643	643		0	100.0%
	④ 報 償 費		②講師謝礼		276	276		0	100.0%
	⑤ 旅 費		①費用弁償		467	250		217	54.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				4,404	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				22	該当/頁	258
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				4,426	該当/頁	259
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	4,426		0	0	0	0	4,426		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	適正な就学指導の支援体制の構築を図るため、三次市こども応援センター教育相談員による就学指導や、県・市などの関係機関との連携を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	報酬 (③非常勤職員報酬) 85,800円 ・児童生徒の適正な就学の実現のための就学指導委員会を定期的に開催。(年 6 回)								
	報酬 (④会計年度任用職員報酬) 3,148,800円 ・三次市こども応援センター教育相談員による就学相談や、県・市などの関係機関との連携により、適正な就学指導の支援体制の構築を図った。								
	職員手当等 (⑬一般職員期末手当) 642,880円								
	報償費 (②講師謝礼) 275,775円 ・特別支援教育の専門家(大学教授、医師等)を学校に派遣し、特別支援に関する指導を行う巡回相談を実施。 ・特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターの専門性向上を図るために、大学教授を招聘した特別支援教育研修会を実施。								
別添資料等	旅費 (①費用弁償) 249,992円								
無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	就学指導委員会では、218件の審議を行い、幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた就学の実現に取り組んだ。「通級による指導」を小学校 7 校(自校 2 校、巡回による指導 5 校)、中学校 4 校(自校 1 校、巡回による指導 3 校)において実施した。 特別支援教育の専門家を派遣し、特別支援に関する指導を行う巡回相談の実施や特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターの専門性の向上を図るための特別支援教育研修会を開催した。								

款	項	目							
10	1	3							
			担当部局・課名	教育部 学校教育課					
事業名			外国語指導助手派遣事業						
事業区分			継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委 託 料		①業務委託料（物件費）		58,998	58,997	0	1	100.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） → 58,997				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 0				該当／頁	260	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 → 58,997				該当／頁	261	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	58,997		0	0	0	0	58,997		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	外国語指導助手（A L T）を小・中学校外国語活動・英語活動及び外国語科、中学校外国語科の指導に従事させることにより、児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに外国語教育の充実に資する。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	委託料（①業務委託料（物件費）） 58,997,411円 A L Tを小・中学校に11人配置し、小学校3・4年生の外国語活動、小学校高学年、中学校の英語の授業において、チームティーチング（複数の教師による授業）を行った。 また、小学校1・2年生を対象として、英語活動を行った。さらに、イングリッシュキャンプを小・中学生対象に各1回ずつ実施した。								
	イングリッシュキャンプの様子（中学生） イングリッシュキャンプの様子（小学生）    								
別添資料等	無								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	授業において、教師がA L Tとの対話モデルを見せたり、児童生徒が学んだ英語を実際に使ってA L Tとコミュニケーションをとるなど、英語による活動をとって、児童生徒の英語によるコミュニケーションへの意欲が高まっている。 ・「A L Tから話しかけられた時、会話しようとする生徒」の項目【令和5年度三次市学力到達度検査より】 小学校5学年 88.1%（全国比+4pt） 小学校6学年 90.0%（全国比+2.9pt） 中学校1学年 91.2%（全国比+8.5pt） 中学校2学年 83.3%（全国比+2.2pt）								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			学力調査実施事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委 託 料		①業務委託料 (物件費)		4,029	3,901		128	97.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正	12 月補正	⑥ (①~⑤の計) ➡			3,901	決算に関する説明書		
	9 月補正	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡			0	該当/頁	260	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡			3,901	該当/頁	261	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	3,901		0	0	0	0	3,901		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	個々の学習の定着度を測り、学校における課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (①業務委託料 (物件費)) 3,900,573円								
	○学力到達度検査 対象学年：小学校第3学年～中学校第2 学年 小学校 3 年生から 6 年生 国語・社会・算数・理科 中学校 1 年生および 2 年生 国語・社会・数学・理科・英語 ○生活・学習意識調査 対象学年：小学校第3学年～中学校第2 学年								
別添資料等 無 (事業一覧等)	【全体の結果】全学年、全教科を合わせた平均点 【教科別の結果】教科ごと全学年を合わせた平均点								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	小学校と中学校をあわせた全体の正答率は66.2%で全国平均を5.7 ポイント上回った。各学校の児童生徒の学習の定着状況から、当該学年で身につけるべき内容の確認や、課題に対する取組を教職員間で共有したりするなど、授業改善・充実を図っている。								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			体験活動充実事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		②講師謝礼		504	387		117	77.0%
	② 需 用 費		①消耗品費		496	429		67	86.0%
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				816	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当/頁	258
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				816	該当/頁	259
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	816		0	0	0	0	816		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	児童の豊かな心の育成を図ることを目的とし、地域の防災活動に関わる体験や、日常と異なる環境での生活体験、三次市の自然・文化・歴史に触れる体験、地域の方々との交流等を通して、自らの命を守る大切さや、ふるさとのよさを実感するとともに、自らの自立心や主体性、よりよい人間関係の形成能力等を伸長することを目指す。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	報償費 (②講師謝礼) 386,830円 ・地域の防災活動に関わる人や自然体験を指導する講師等への支払い ・地域の防災士を招聘した場合は、「三次市防災士ネットワーク規約」により一日6,000円の報償費を支払う 需用費 (①消耗品費) 429,285円 ・熱中症対策物品 等								
	 防災士によるロープワーク指導  カヌー体験								
別添資料等 無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和5年度は、市内17校の小学校が1日又は2日の体験活動を実施し、宿泊を伴う活動を実施した学校もあった。実施した学校からは、「児童が地域の方に積極的に関わりながら活動し、地域の方々とのつながりがさらに強いものとなった」という報告や、「学校や地域のために自分ができることを考えていきたい」という児童の声が聞かれた。 ・体験活動を通して自分は成長したと思う児童の割合 90.2%								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名 教育部 学校教育課						
事業名			校務支援システム活用事業						
事業区分			新規事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 使用料及び賃借料		⑥事務機器等借上料		1,248	1,085		163	87.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正	12 月補正	⑥ (①～⑤の計) → 1,085				決算に関する説明書		
	9 月補正	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 0				該当／頁	260	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 1,085				該当／頁	261	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	1,085		0	0	0	0	1,085		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	児童生徒の基本情報、出欠状況、成績情報、保健情報等の管理機能を有する統合型校務支援システムを導入することにより、校務の標準化・業務改善を行い、教職員の業務負担軽減及び教育の質の維持向上を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状 況写真／図面等	使用料及び賃借料 (⑥事務機器等借上料) 1,085,150円								
	統合型校務支援システム導入に際し、教職員の負担をなるべく軽減するため、ガイダンス等を開催し、円滑な導入を図った。								
別添資料等 無 (事業一覧等)	計 9回 660分								
	成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか								
・市内小中学校の様式及びフロー等の統一化 各種様式管理や帳票作成までのフローについて、各校独自の運用が行われているといった実態があったが、システムの導入により、原則市内共通となるよう再構築することができた。 ・内部事務の効率化 非効率な転記による負担増や紙面管理による紛失等のミス削減に向けて、基盤を構築することができた。 ・3月からの導入であるため、教職員の業務負担軽減および教育の質の維持向上についての成果については今後評価していく。									

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			部活動指導員活用事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		④会計年度任用職員報酬		5,800	4,566		1,234	79.0%
	② 旅 費		①費用弁償		989	386		603	39.0%
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正	12 月補正	⑥ (①～⑤の計) ➡				4,952	決算に関する説明書	
	9 月補正	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 ➡				0	該当／頁	258
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡				4,952	該当／頁	259
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		12名の部活動指導員を採用する予定であったが、11名の採用にとどまったため。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	4,952		0	3,139	0	0	1,813		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		令和 5 年度部活動指導員配置支援事業補助金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	中学校において、教職員に代わり、専門的な技術や知識をもった、部活動の指導を単独で行うことができる部活動指導員を配置することで、生徒の部活動における技術力の確実な向上と、学校教育活動の一層の充実および教職員の「働き方改革」の推進を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等	報酬 (④会計年度任用職員報酬) 4,565,600円 ・ 部活動指導員報酬 旅費 (①費用弁償) 385,925円 ・ 部活動指導員通勤手当相当・生徒引率 部活動は、生徒の自己肯定感を高めたり、人間関係の構築を図るなど、生徒の学びの場としてとても意義のあるものである。スポーツや文化活動などの専門的な知識や技能をもつ部活動指導員を配置することで、部活動のより一層の充実と教職員の「働き方改革」の推進をめざしている。								
	令和 5 年度配置状況 (6 校に配置) ・ 卓球部 3 人 ・ バスケットボール部 1 人 ・ 野球部 1 人 ・ ソフトテニス部 1 人 ・ バレー部 1 人 ・ 吹奏楽部 2 人 ・ 音楽部 1 人 ・ 茶道部 1 人 計 11 人 学校別内訳 ・ 三次中学校 2 名 (バレー部・吹奏楽部) ・ 三良坂中学校 2 名 (テニス部・音楽部) ・ 塩町中学校 1 名 (卓球部) ・ 吉舎中学校 2 名 (野球部・吹奏楽部) ・ 十日市中学校 3 名 (バスケットボール部・卓球部・茶道部) ・ 君田中学校 1 名 (卓球部)								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	・配置した全ての学校から、「部活動指導員による単独指導により顧問の負担が軽減されている」という回答が得られている。また、「部活動指導員が配置されたことで部活動が充実し、生徒が意欲的に部活動に参加しているか」という質問に対して、配置校全ての学校が肯定的回答をしている。 ・部活動指導員が単独指導に当たった時間の割合は、運動部、文化部ともに 6 割を上回った。 ・部活動指導員は、熱中症予防やけがが防止についても教職員や生徒の意識を向上させるなど、生徒の安全の確保にも大いに貢献している。また、部活動指導員が単独指導を行うことで、教諭の教材研究等に費やす時間が確保できているという校長の声も聴かれた。								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			学校図書館リニューアル事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 需 用 費		①消耗品費		9,084	9,081		3	100.0%
	② 委 託 料		①業務委託料 (物件費)		2,047	2,046		1	100.0%
	③ 備品購入費		③その他備品購入費		800	719		81	90.0%
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) ➡			11,846	決算に関する説明書		
	9 月補正	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 ➡			0	該当/頁	258	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡			11,846	該当/頁	259	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	11,846		0	0	0	0	11,846		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	学校図書の充実、環境整備に取り組むことで、児童生徒がこぼれを獲得することを促し、感性を磨き、表現力を高め、創造力を広げ、人生をよりよく生きる力を身に付けていけることができるよう、様々な興味・関心に応える魅力的な学校図書館にする。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	需用費 (①消耗品費) 9,080,943円 文部科学省の定める「学校図書館図書標準」で定められている冊数の図書を整備し、各学校において充足率100パーセントを達成できるよう学校図書館図書の充足・更新を実施。社会の変化や学問の進展を踏まえ、新しい情報に触れる環境の整備の観点から、図書の更新は定期的に行いながら、充足率が上がるよう努めている。								
	委託料 (①業務委託料 (物件費)) 2,046,749円 令和4年度の10月から読書活動推進員の学校配置を開始した。令和5年度は、新規14校、継続校として8校、計22校を指定校として読書活動推進員を配置し、学校図書館の環境の充実や、児童・生徒の読書活動の推進に向けた取組を行った。 【実施校】 ・ (令和5年度から新規) 河内小, 青河小, 和田小, 川西小, 小童小, 吉舎小, 八幡小, 三和小, 塩町中, 吉舎中, 三和中, 神杉小, 田幸小, 八次中, ・ (令和4年度から継続) 八次小, 甲奴小, みらさか小, 川地中, 十日市中, 十日市小, 酒河小, 栗屋小								
別添資料等 無 (事業一覧等)	学校の図書館が、児童生徒にとって、ゆっくり読書ができる心地よい空間、また調べ学習や一人学びができる空間となるよう、市内2校 (栗屋小学校, 三和小学校) に、蔵書を収納する書架や落ち着いて読書ができるためのマットなどを整備した。								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	「読書活動推進員」については、学校から「児童生徒にとって効果的な環境整備が行われた。」等の意見があり、児童生徒の読書環境の充実に寄与できている。 図書の購入により、各学校が古くなった図書を廃棄し、新しい本を配置することができた。								



款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			教育政策研究事業						
事業区分		新規事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		②講師謝礼		184	0		184	0.0%
	② 旅 費		①費用弁償		150	0		150	0.0%
	③ 旅 費		②普通旅費		666	334		332	50.0%
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 334					決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 → 0					該当／頁	258
	臨時会 補正	第 2 回臨時会	⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 → 334					該当／頁	259
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	334		0	0	0	0	334		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			外部の専門アドバイザーで構成する「教育政策研究チーム」を設置して、本市における様々な課題に対応した専門的な知見や調査研究の方向性に対する助言を継続的にいただくことを計画している。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状 況写真／図面等			「教育政策研究チーム」設置に向けて、令和5年度は、本市の実態も踏まえた研究チームの構成員や研究の手法を模索するため、先進地への視察を行い、ノウハウを収集した。 報償費 (②講師謝礼) , 旅費 (①費用弁償) については、戸田市教育委員会をはじめ、専門的な知見を有する方をお招きする想定であったが、オンラインで発信される機会をとらえ、情報を入手することができたため、報償費、旅費が不用となった。 旅費 (②普通旅費) 334,480円 不登校特例校先進事例視察： 宮城県白石市						
別添資料等 無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			専門的な知見を有する方々と情報交換をしたり、直接、視察をすることが、「みよし学びの共創プラン」策定の際に参考になった。 「みよし学びの共創プラン」に基づき、今後の三次市の教育の方向性を議論するための中核になる事業と位置づけ、取組を進めている。						

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名 教育部 学校教育課						
事業名			中学校部活動地域移行推進事業						
事業区分			新規事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		④会計年度任用職員報酬		856	430		426	50.0%
	② 職員手当等		⑬一般職員期末手当		92	0		92	0.0%
	③ 旅 費		①費用弁償		92	92		0	100.0%
	④ 需 用 費		①消耗品費		13	11		2	85.0%
	⑤							0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 533				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 0				該当/頁	258	
	臨時会 補正	第 2 回臨時会	⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 533				該当/頁	259	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	533		0	419	0	0			114
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 (運動部活動の地域移行に向けた実証事業)						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	部活動地域移行総括コーディネーターの配置により、地域の関係団体や運営主体等との連携が充実し、生徒にとって望ましいスポーツ活動、文化活動の環境が整うとともに、地域の活性化にもつながっている姿を目指す。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	報酬 (④会計年度任用職員報酬) 430,070円 職員手当等 (⑬一般職員期末手当) 日々雇用での採用としたため、不要となった。 旅費 (①費用弁償) 91,744円 需用費 (①消耗品費) 11,550円 令和 5 年度10月から、部活動地域移行総括コーディネーターを配置し、次のような業務を進めている。 ・検討委員会の企画・運営、実現方策の検討 ・成果や課題について評価・分析を行い、関係者とともに解決方策や地域の実情に応じた地域移行の進め方を検討 ・学校及び外部団体との連絡・調整 ・地域移行説明会の実施 ・拠点校における優れた取組や成果を域内に展開し、取組を促進 地域部活動検討委員会開催 ・令和 3 年 2 回 ・令和 4 年 3 回 ・令和 5 年 3 回								
	別添資料等 無 (事業一覧等)	地域部活動検討委員会自体は令和 3 年から開催しているが、中学校部活動地域移行推進事業としては令和 5 年度から。							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	地域部活動検討委員会の開催を継続し、検討を重ねている。 モデル地区を指定し、地域の受け皿との協議を進め、実践へ向けて準備が進んでいる。 受け皿となりうる地域や団体との連携が進んでいる。 部活動の地域移行については大きな転換であり、学校・保護者・地域・受け皿となる団体等との丁寧な協議が必要である。								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			発信力向上プロジェクト						
事業区分		新規事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		②講師謝礼		288	287		1	100.0%
	② 旅 費		①費用弁償		13	0		13	0.0%
	③ 役 務 費		⑧その他保険料		1	1		0	100.0%
	④ 委 託 料		①業務委託料（物件費）		150	150		0	100.0%
	⑤							0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡				438	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡				0	該当／頁	258
	臨時会 補正	第 2 回臨時会	⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 ➡				438	該当／頁	259
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	438		0	0	0	0	438		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			三次市の魅力や立場を効果的に対外発信できる人材を意識的に増やしていくため、自分の興味関心のあるテーマについて探求し、学校外の他者と協働しながら、プレゼンテーション動画としてまとめる活動をととして、児童生徒の表現力の育成を図る。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等			報償費（②講師謝礼） ・動画作成講師 謝礼24,000円×3名×4回 288,000円 旅費（①費用弁償） ・県内在住の講師を確保できたため、費用弁償分も講師謝礼に含む 役務費（⑧その他保険料） ・活動保険料 360円 委託料（①業務委託料（物件費）） ・活動PR動画作成 150,000円 本事業では、児童生徒が自分の思いや考えを論理的に表現する力の育成を目指し、児童生徒の興味関心に応じて調査した内容を、1人1台配付しているipadを活用してプレゼンテーションを作成して発表した。 ・7月から10月の土曜に3時間、全4回開催 ・講座では、共通して、他者とコミュニケーションをとる内容の設定や、ミニ発表会を設定し表現する機会を設定 ・動画の編集の方法を学んだり、構成台本の作成を通して論理的な表現力を高めたりした。 ・実際に三次の町をフィールドワークすることで、参加した児童生徒が感じた思いや願いを発信する動画作成活動を行った。 ・作成した作品や活動をPRする動画は、1月の「まちづくり交流会」で上映した。						
別添資料等 無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			受講者アンケート「今回の研修では自分の考えを積極的に伝えることができましたか」の項目についての肯定的評価 第1回 87.5%, 第2回目100%, 第3回目100% となった。 参加当初は「人前に出ると緊張してしまうので堂々と人前に出られるようにしたい」と感じていた児童が、「まちづくり交流会」では「思っていた以上に人がいて緊張しただけで発表できてよかったです。…（中略）人が来てくれるが不安だったけど来てくれてほっとしました。…（中略）…上映が終わったらみてくれた人が上手だったよと声をかけてくれて嬉しかったです。来年も参加したいと思いました。」と、発表することを前向きに捉え、次年度への意欲を表していた。						

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			いじめ防止・不登校対策推進事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		④会計年度任用職員報酬		11,613	11,613		0	100.0%
	② 職員手当等		⑬一般職員期末手当		2,321	2,259		62	97.0%
	③ 報 償 費		②講師謝礼		3,187	2,832		355	89.0%
	④ 旅 費		①費用弁償		947	594		353	63.0%
	⑤ 委 託 料		①業務委託料（物件費）		1,833	1,724		109	94.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡			19,022	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡			637	該当／頁	258	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 ➡			19,659	該当／頁	259	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	19,659		0	0	0	0	19,659		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	いじめ・不登校の未然防止，早期発見と初期対応，不登校児童生徒の社会的自立への取組を行う。三次市学校支援ネットワークを組織し，教育相談員，青少年指導相談員，地域サポーター，スクールカウンセラー等の人的な措置を行うことで，いじめ，不登校に限らず，生徒指導上の諸課題等への総合的な対応をする。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	報酬（④会計年度任用職員報酬） 教育相談員・青少年指導相談員 報酬 11,613,484円 職員手当等（⑬一般職員期末手当） 教育相談員・青少年指導相談員 期末手当 2,259,432円 委託料（①業務委託料（物件費）） 総合質問紙調査 小学校 1 回 中学校 2 回 1,724,058円 報償費（②講師謝礼） 三次市スクールカウンセラー相談業務等 2,832,222円 教職員を対象に，いじめの未然防止や不登校解消に向けた研修会を開催し，いじめを許さない風土づくりやいじめの早期発見・早期対応，不登校の未然防止に努めた。また，総合質問紙調査を実施して，子どもたちの学級環境や社会性などを分析し，学級経営の充実や教師と子どもたちの信頼関係，子どもたち相互の好ましい人間関係を育てるために活用した。 三次市こども応援センターや三次市教育支援ルームにおいては，教育相談員や青少年指導相談員，スクールカウンセラーによる相談体制の充実を図り，学校や子ども，その保護者からの就学や不登校などの不安や悩みに対して相談・助言を行い，悩み解消に向けての取組を進めた。教育支援ルームを利用する保護者同士がつながり，情報交換をする場となるよう，保護者会も2回開催した。								
	別添資料等 無 （事業一覧等）								
成果/評価 * 事業を執行したことにより，どのような成果や効果をもたらしたのか	「学校は楽しい」と肯定的に答えている児童生徒の割合：令和 5 年度 小6 86.4% 中3 77.3% 令和4年に比べると，小学校の数値は+5.1ポイント，中学校の数値は-2.8ポイントとなった。 ・教育支援ルームは，不登校児童生徒の居場所となりつつある。 ・いじめ認知については，各学校が積極的な認知を行っている。 ・こども応援センターへの保護者からの相談や管理職からの学校経営に関する相談が多くあり，早急，適切に対応できている。								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 学校教育課				
事業名			三次版学校ICT活用事業						
事業区分		継続事業		第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 需用費		①消耗品		93	29		64	31.0%
	② 需用費		⑥修繕料		1,630	1,630		0	100.0%
	③ 役務費		①通信運搬費		1,188	1,089		99	92.0%
	④ 委託料		③施設機器等管理委託料		18,264	18,264		0	100.0%
	⑤ 使用料及び賃借料		⑨その他使用料及び賃借料		11,116	10,549		567	95.0%
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		31,561	決算に関する説明書		
	9月補正	○	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	260	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		31,561	該当/頁	261		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	31,561		5,220	0	0	0	26,341		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金 (GIGAスクール運営支援センター整備事業)						
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			タブレット端末や電子黒板などデジタル機器を効果的に活用した授業づくりを通して, 教員の授業力の向上を図るとともに, 児童生徒の個別最適な学びを進める。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等			需用費 (①消耗品) ・ iPadフィルム等 28,600円 需用費 (⑥修繕料) ・ iPad修理代 1,630,200円 役務費 (①通信運搬費) ・ インターネット回線利用料 696,960円 ・ GIGA回線利用料等 1,088,998円 委託料 (③施設機器等管理委託料) ・ タブレット端末・ネットワーク運用保守 18,263,905円 使用料及び賃借料 (⑨その他使用料及び賃借料) ・ フィルタリングソフト利用料 7,112,160円 ・ 授業支援アプリ利用料 3,437,280円					タブレット端末活用の様子	
									
別添資料等 無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか			児童生徒は授業や家庭学習の中で積極的にタブレット端末を活用しており, 授業支援アプリについても個別最適な学びの実現に向けて必要不可欠なものとなっている。(ICT機器を活用した授業を週1回以上行った学校: 97.5%)						

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名 教育部 学校教育課						
事業名			コミュニティ・スクール・地域学校協働活動推進事業（小中一貫教育充実事業）						
事業区分			継続事業（拡充）		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		②講師謝礼		693	615		78	89.0%
	② 旅 費		①費用弁償		31	22		9	71.0%
	③ 需 用 費		①消耗品費		791	784		7	99.0%
	④ 需 用 費		④印刷製本費		350	336		14	96.0%
	⑤ 使用料及び賃借料		④自動車借上料		165	129		36	78.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） → 1,886				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 6				該当/頁	258	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 → 1,892				該当/頁	259	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	1,892		0	0	0	0	1,892		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			義務教育 9 年間を一体のものととらえ、同じ中学校区の小中学校が、めざす子ども像や教育目標を共有し、全ての子どもの可能性を最大限に伸ばす学校づくりを目指す。また、地域の特性を中学校区の教育へ生かす小中一貫教育を推進する。 本事業に要する経費に対し、予算の範囲内で事業費を配当することにより、学校独自の豊かな教育内容の創造及び教育活動を支援し、児童生徒の学習意欲の喚起と学力向上を目的とする。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	報償費（②講師謝礼） ・講師謝礼（神楽指導・田楽指導・歌唱指導・アナウンス講師 等） 614,770円								
	旅費（①費用弁償） ・講師等旅費相当 21,780円								
	需用費（①消耗品費） ・デジタルカメラ購入、幟作成、短歌用短冊 等 784,671円								
別添資料等 無 （事業一覧等）	需用費（④印刷製本費） ・小中一貫カレンダー 239,800円 ・広報紙、パンフレット、研究紀要印刷費 96,000円								
	使用料及び賃借料（④自動車借上料） ・合同授業の児童移送 129,470円								
	 小中短歌交流会（布野中学校区）								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	 校区一斉ボランティア活動（三次中学校区）								
	・小学校・中学校の合同行事や交流会のほか、合同ゲストティーチャーを招いて学習をするなど、各校で工夫した取組を進めた。 ・地域や児童・生徒の実態を踏まえた各学校の実践研究の推進や、各中学校区の小中一貫の取組をまとめた「小中一貫カレンダー」や「小中一貫だより」などを作成し、広く情報発信した。 令和 5 年度は、令和 4 年度モデル地区の三次中学校区に続き、八次・布野・作木・三良坂・三和中学校でコミュニティ・スクールを導入し、地域学校協働活動の充実を図った。								

款	項	目							
10	5	1							
			担当部局・課名	教育部 社会教育課					
事業名			コミュニティ・スクール・地域学校協働活動推進事業（地域学校協働活動推進事業）						
事業区分			継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		①委員等謝礼		495	160	0	335	32.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) → 160				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 0				該当/頁	268	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 160				該当/頁	269	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	160		70	0	0	0	90		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金						
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもの学びや成長を支えるとともに、地域の将来を担う人材の育成を図るため、学校と地域をつなぐ役割として、地域学校協働活動推進員を配置し、取組の推進を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	報償費 (①委員等謝礼) 160千円 ・地域学校協働活動推進員 9 名委嘱 (三次地区, 八次地区, 君田地区, 布野地区, 作木地区, 三良坂地区, 吉舎地区, 甲奴地区, 全域)								
	 活動の様子								
別添資料等 無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	地域学校協働活動推進員を配置することで、学校との連絡調整、情報の共有、会議への参加や地域住民への呼びかけなど、地域と学校が円滑に連携・協働できるよう取組を進めており、一部地域では、連携がスムーズになってきている。今後は、この取組を広げていくとともに、地域と学校が連携した取組を推進していく。								

款	項	目							
10	5	5	担当部局・課名		教育部 社会教育課				
事業名			子ども文化芸術ふれあい事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)		6,133	1,953	0	4,180	32.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正	12 月補正	⑥ (①~⑤の計) →				1,953	決算に関する説明書	
	9 月補正	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →					該当/頁	278
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				1,953	該当/頁	279
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			広島交響楽団オーケストラ音楽鑑賞教室の実施を全体公演から希望する学校での公演に変更したため。 また, 芸術鑑賞事業への申請が見込みよりも少なかったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	1,953		0	0	0	1,952	1		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他		スポーツ・文化みよし夢基金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			市内の小中学生に, 芸術文化や三次の歴史文化に触れる機会を提供することで, 児童生徒の豊かな心を育み, 本市の文化・芸術の発展継承と創造につなげる。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))				 美術館芸術鑑賞		
			・広島交響楽団オーケストラ音楽鑑賞教室 (学校公演) : 1,296,268円 十日市小学校 (4年~6年) : 288名 八幡小学校・吉舎小学校 (各校全学年) : 109名 八次小学校 (4年~6年)・八次中学校 (全学年) : 412名						
			・アンサンブル・人形舞等学校公演 : 216,770円 吉舎中学校 (全学年) : 56名						
			・美術鑑賞事業 : 439,812円 見学鑑賞人数 : 260名 参加校 : 市内小学校9校 実施場所 : 奥田元宋・小由女美術館 他				 広島交響楽団オーケストラ教室学校公演		
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか			本事業は, 小中学生が芸術文化に触れることのできる貴重な機会であり, このことが本市で体験できているのは, 本事業の成果である。しかし, 実施校が限定されている状況もあり, 実施ができていない学校の課題等について状況を把握し, より活用しやすいよう事業内容の検討を進めていく必要がある。						

款	項	目							
10	5	5	担当部局・課名		教育部 社会教育課				
事業名			真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 備品購入費		③その他備品購入費		3,000	2,166	0	834	72.0%
	② 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)		7,000	5,628	0	1,372	80.0%
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正	12 月補正	⑥ (①~⑤の計) →			7,794	決算に関する説明書		
	9 月補正	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 →			0	該当/頁	278	
	臨時会 補正	第 2 回臨時会	⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			7,794	該当/頁	279	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		三次市真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金への申請が見込みよりも少なかったため。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	7,794		0	0	0	7,794	0		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他		真田一幸スポーツ・文化子ども育成基金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	市内の概ね18歳以下の子どもを対象としたスポーツ・文化の振興及び育成を図るため、スポーツや文化活動で使用する用具の購入及びスポーツ・文化活動に自主的に取り組む団体に対して、三次市真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金を交付する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	備品購入費 (③その他備品購入費) ・真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業用具 2,166,000円 ダイヤモンドカバー (ホームベース用, マウンド用) : 三次市営球場 審判台 : 君田テニスコート, 吉舎テニスコート, 三和テニスコート プールフロア : 甲奴水泳プール								
	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) ・真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金 5,628,400円 団体運営 63件 5,181,700円 大会等開催 5件 446,700円								
別添資料等									
無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	各スポーツ施設で使用する用具を購入し, 施設を利用する子ども等各団体が活動する場の充実を図った。またスポーツ・文化活動に自主的に取り組む団体や大会等に補助金を交付することで, 活動を支援し, 子どもを対象としたスポーツ・文化の振興及び育成を図ることができた。								



ダイヤモンドカバー



審判台

款	項	目							
10	5	5	担当部局・課名 教育部 社会教育課						
事業名			奥田元宋・小由女美術館リニューアル事業						
事業区分			継続事業（拡充）		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委 託 料		④調査測量設計監理等委託料		7,770	5,995	0	1,775	77.0%
	② 工事請負費		①工事請負費		189,625	184,185	0	5,440	97.0%
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） → 190,180				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 0				該当／頁	280	
	臨時会 補正	第 1 回臨時会	⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 → 190,180				該当／頁	281	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			入札残による						
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	190,180		0	0	187,900	0			2,280
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			中央監視盤及び空調設備について、老朽化による改修が必要となったため、改修工事を行った。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等			委託料（④調査測量設計監理等委託料） 5,995,000円 ・空調設備改修工事監理業務：5,610,000円 ・中央監視盤改修工事管理業務：385,000円 工事請負費（①工事請負費） 184,185,000円 ・空調設備改修工事：174,857,000円 ・中央監視盤改修工事：9,328,000円 空調設備改修工事 照明中央監視システム改修工事						
別添資料等									
無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか			照明中央監視システムの改修工事を行ったことにより、照明設備の効率的な管理が可能となり、業務の簡素化につながった。 また、空調設備の改修工事を行ったことにより、作品の保管に適した環境の維持につなげることができた。						

款	項	目						
10	5	4						
			担当部局・課名	教育部 社会教育課				
事業名			史跡寺町廃寺跡整備事業					
事業区分			継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」			
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		①委員等謝礼	347	347	0	0	100.0%
	② 旅 費		①費用弁償	136	59	0	77	43.0%
	③ 旅 費		②普通旅費	92	42	0	50	46.0%
	④ 需 用 費		④印刷製本費	1,128	1,078	0	50	96.0%
	⑤ 委 託 料		①業務委託料 (物件費)	2,426	2,330	0	96	96.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			3,856	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			23	該当/頁	272
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			3,879	該当/頁	275
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和5年度	3,879		1,939	0	0	0	1,940	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金		史跡等保存活用計画等策定費補助金					
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			史跡寺町廃寺跡について、適切な保存及び市民から愛される史跡を目指して、史跡の有する歴史的・文化的魅力を体験できる整備を行うことで、市民の歴史に対する理解を深め、郷土愛の醸成に努める。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	報償費 (①委員等謝礼) 346,800円 ・三次市保存活用計画策定委員会委員等謝礼 (3回開催) ・委員: 学識経験者, 文化財保護委員, 地元代表等 旅費 (①費用弁償) 59,240円 ・策定委員会出席に係る費用弁償 (学識経験者等) 旅費 (②普通旅費) 42,280円 ・文化庁協議に係る普通旅費 需用費 (④印刷製本費) 1,078,000円 ・『史跡寺町廃寺跡保存活用計画』印刷製本費 委託料 (①業務委託料 (物件費)) 2,329,800円 ・保存活用計画策定業務委託料							
	 策定委員会の様子							
別添資料等								
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	史跡寺町廃寺跡について、適切な保存と有効的な活用を目的とした整備事業である。 今後10年間の保存と活用に向けた取組の方針と方向性をまとめた保存活用計画を策定した。 今後の整備にあたっては、より史跡の有する歴史的、文化的魅力を伝えていくため、AR・VRといった先端技術の活用も視野に入れながら、幅広い世代の興味・関心を高める整備方法について検討していく。							

款	項	目							
10	5	4	担当部局・課名		教育部 社会教育課				
事業名			重要文化財奥家住宅保存修理事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		⑤補助金（補助費）		400	400	0	0	100.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正	12 月補正	⑥（①～⑤の計） → 400				決算に関する説明書		
	9 月補正	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 0				該当／頁	274	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 → 400				該当／頁	275	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	400		0	0	0	0	400		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	重要文化財の保存と活用を図るため、屋根葺替及び部分修理を行う。 事業主体は所有者であり、国庫補助事業の受益者負担の一部を補助するもの。 所有者により令和 6 年度から実施される保存修理工事の実施設計を実施した。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	負担金、補助及び交付金（⑤補助金（補助費）） 400,000円 ・事業費：8,000千円（うち、市補助金（5%）：400千円） 国庫補助（85%）：6,800千円 県補助金（5%）：400千円 所有者負担（5%）：400千円 ・事業内容：保存修理に係る実施設計								
									
別添資料等 無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	重要文化財奥家住宅について、適切な保存と有効的な活用を目的とした整備事業である。 重要文化財奥家住宅は、建物の構造と残存する棟札・古文書等の資料により、建築年代（主屋：天明8（1788） 年、土蔵：文化9（1812）年）が明確な全国的にも貴重な民家であり、次の世代へ伝えていくために修繕等が必要で ある。								

款	項	目							
10	5	5							
			担当部局・課名	教育部 社会教育課 ・ 甲奴支所					
事業名			ジミー・カーターシビックセンター改修事業						
事業区分			継続事業 (拡充)		第 4 節 美しい風景を後代に伝える「環境づくり」				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		①委員等謝礼		75	75		0	100.0%
	② 旅 費		①費用弁償		39	39		0	100.0%
	③ 委 託 料		④調査測量設計監理等委託料		15,054	15,010		44	100.0%
	④ 工事請負費		①工事請負費		56,886	47,960	8,926	0	84.0%
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正	12 月補正	⑥ (①~⑤の計) ➡				63,084	決算に関する説明書	
	9 月補正	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡				0	該当/頁	276
	臨時会 補正	第 1 回臨時会	⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡				63,084	該当/頁	279
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	63,084		0	0	62,960	0	124		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	平成6年度に建築された当該施設は、甲奴町の活動拠点であり、教育文化の向上のほか国際交流のために重要な施設である。しかしながら当該施設の空調は竣工後約30年が経過し、老朽化による故障・修繕を繰り返しており、安全・快適な利用に支障をきたしている。また、カーター元米大統領の展示室も展示コンテンツに現状と相違するものが散見される状況にある。施設面においては、熱源機器や中央監視装置盤などの更新のほか個別管理できる空調として改修を行うことにより、施設の長寿命化及び機能向上を図る。あわせて展示室の更新をするための実施設計を行う。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	報償費 (①委員等謝礼) 75,000円 ・ジミー・カーターシビックセンター改修等設計者選考審査委員会 (2回開催) 旅費 (①費用弁償) 38,240円 ・選考審査委員会出席に係る費用弁償 委託料 (④調査測量設計監理等委託料) 15,009,500円 ・平和学習センター展示物更新等事業実施設計業務 9,900,000円 ・空調設備等改修工事基本・実施設計業務 5,109,500円 工事請負費 (①工事請負費) 47,960,000円 ・空調設備改修工事								
	 吸収式冷温水機、冷却塔 1F 機械室 ポンプ 展示室								
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか	平和学習センターのリニューアルにより、ガイダンスエリアの設置や I C Tを活用した体験型コンテンツの採用など、展示への理解促進が図れ、多くの子どもたちが興味を持ち、平和の大切さを知る良い機会になる。また、空調の機器を更新したことにより故障・修繕がなくなり本施設の運営が活性化する。								

款	項	目							
3	2	6	担当部局・課名		教育部 社会教育課				
事業名			子どもの居場所づくり推進事業（放課後児童健全育成事業/放課後児童クラブ）						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		④会計年度任用職員報酬		114,403	113,867	0	536	100.0%
	② 職員手当等		⑬一般職期末手当		17,609	17,608	0	1	100.0%
	③ 需 用 費		⑤光熱水費		5,309	4,013	0	1,296	76.0%
	④ 委 託 料		①業務委託料（物件費）		10,257	10,257	0	0	100.0%
	⑤ 負担金、補助及び交付金		⑤補助金（補助費）		1,326	1,208	0	118	91.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡			146,953	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 ➡			14,679	該当/頁	172	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 ➡			161,632	該当/頁	175	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		光熱水費は使用料の見込みを下回ったため。							
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	161,632		31,230	31,230	0	29,477	69,695		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		子ども・子育て支援交付金						
	県支出金		子ども・子育て支援交付金						
	負担金等その他		放課後児童クラブ負担金						
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	保護者が就労などにより昼間家に不在となる小学 1 年生から小学 6 年生までの児童を対象として、放課後や土曜日、長期休み期間に家庭に代わる生活の場をつくり遊び中心とした活動を行い、児童の健全育成のための放課後児童クラブを運営する。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表/状況写真/図面等	報酬(④会計年度任用職員報酬) 113,866,911円 ・主任放課後児童支援員 1 人 ・放課後児童支援員（週 6 日勤務：27人、週 5 日勤務：14人、放課後児童支援員日々雇用 96人） 職員手当等(⑬一般職期末手当) 17,608,458円 会計年度任用職員（児童支援員）期末手当 需用費(⑤光熱水費) 4,012,657円 電気料金, 上下水道使用料 委託料(①業務委託料(物件費)) 10,257,000円 ・放課後児童クラブ運営委託料 9,883,000円 委託先 中央福祉会（ちゅうおう児童クラブ）定員55人、 ・施設周辺環境整備事業 132,000円（八次こども集会所）、酒河児童クラブ移転委託料 242,000円 負担金、補助金及び交付金（⑤補助金(補助費)）1,207,405円 ・小規模型放課後児童クラブ事業補助金 930,000円 八幡放課後児童クラブ 利用児童 10人 ※子ども・子育て支援交付金対象外のため補助金で運営 ・三次市放課後児童支援員等処遇改善臨時特例補助金 277,405円 その他の節の決算額 14,679,853円 ・主な経費 旅費(④費用弁償) 3,456,690円 会計年度任用職員交通費 需用費(①消耗品費) 3,608,792円 各児童クラブ消耗品 役務費(⑧その他保険料) 1,076,640円 賠償、傷害保険料 工事請負費(①工事請負費) 3,556,300円（和田児童クラブ移転関連工事2,244,000円、 八次児童クラブ駐車場整備工事528,000円、酒河児童クラブ移転関連工事784,300円）								
	別添資料等 無 （事業一覧等）								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	保護者が就労などにより昼間家に不在となる小学 1 年生から小学 6 年生までの児童を対象として、放課後や土曜日、夏休みなど学校休業期間に、家庭に代わる生活の場として遊びを中心とした活動を行った。運営に当たっては安心安全を最優先に確保しながら子どもたちの健全な育成を図った。								

款	項	目							
10	5	1							
			担当部局・課名	教育部 社会教育課					
事業名			子どもの居場所づくり推進事業（放課後子ども教室事業）						
事業区分			継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		①委員等謝礼		55	39	0	16	71.0%
	② 需 用 費		⑤光熱水費		221	171	0	50	77.0%
	③ 委 託 料		①業務委託料（物件費）		25,000	22,805	0	2,195	91.0%
	④ 工事請負費		①工事請負費		946	897	0	49	95.0%
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） → 23,912				決算に関する説明書		
	9 月補正	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 → 0				該当／頁	270	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 → 23,912				該当／頁	271	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			学校臨時休業や学級閉鎖等の要因により、開所日数や平均利用児童数が計画時から減少し、業務委託料が当初見込みを下回ったため。						
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
	令和5年度		23,912	0	8,378	0	0	15,534	
	特定財源 内訳		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		令和 5 年度広島県学校・家庭・地域連携協力推進事業県費補助金						
負担金等その他									
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			放課後児童クラブの実施が困難な10小学校区について、小学校 1 年生から 6 年生までの児童を対象として、放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所の確保を図り、地域住民の参画を得て様々な体験・交流・学習活動を行うことで児童の社会性や自主性・創造性等を育成する場所として、放課後子ども教室の運営を運営を自治組織等に委託する。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等			報償費（①委員等謝礼） ・放課後子ども教室運営委員会委員謝礼 39,000円 需用費（⑤光熱水費） ・布野放課後子ども教室光熱水費 170,971円 委託料（①業務委託料（物件費）） ・放課後子ども教室運営業務委託料（10箇所） 22,694,690円 ※放課後子ども教室一覧及び内訳は別紙 ・布野放課後子ども教室施設周辺環境整備業務委託料 110,000円 工事請負費（①工事請負費） ・布野放課後子ども教室空調機取替工事 896,500円 ※布野放課後子ども教室は市直営施設で開設						
別添資料等 有 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			市内10箇所（河内・栗屋・布野・作木・川地・青河・川西・田幸・君田・小童）で、住民自治組織などへ運営を委託することで、地域住民が直接子どもたちに関わり地元根付いた活動となっている。各教室で、学習指導をはじめ、工作教室や調理教室、スポーツ活動、落語教室、農業体験などの幅広いプログラムを企画し、子どもたちの可能性が広がる取組が行われている。						

令和５年度 放課後子ども教室運営委託料

予算現額 25,000,000 円

(単位：円)

No	放課後子ども教室名	運営団体	役職	代表者名	住所	委託料
1	栗屋放課後子ども教室	栗屋町づくり協議会	会長	中川 哲和	三次市栗屋町2320-1	2,743,668
2	河内放課後子ども教室	河内まちづくり連合会	会長	堂前 昭己	三次市小文町182-1	2,577,450
3	布野放課後子ども教室	布野町まちづくり連合会	会長	池上 裕章	三次市布野町上布野1196-1	2,673,600
4	作木放課後子ども教室	一般社団法人作木町自治連合会	理事長	瀧奥 祥二郎	三次市作木町下作木905-2	1,801,300
5	川地放課後子ども教室	川地連合自治会	会長	久保田 博昭	三次市下志和地町663-8	2,479,312
6	青河放課後子ども教室	青河放課後子ども教室	会長	奥川 登	三次市青河町582-1	2,074,575
7	川西放課後子ども教室	川西放課後子ども教室	会長	山下 昭	三次市三若町2633-3	2,075,310
8	田幸放課後子ども教室	田幸地区町内会連合会	会長	黒瀬 隆則	三次市大田幸町342-5	2,490,675
9	君田放課後子ども教室	君田自治区連合会	会長	宮本 正和	三次市君田町東入君644-8	1,778,375
10	小童放課後子ども教室	小童放課後子ども教室	会長	近藤 幸晴	三次市甲奴町小童3029-2	2,000,425
合計						22,694,690

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部 社会教育課				
事業名			高校生地域活動支援事業						
事業区分		継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)		900	360	0	540	40.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6 月補正	12 月補正	⑥ (①~⑤の計) → 360				決算に関する説明書		
	9 月補正	3 月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 → 0				該当/頁	260	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 360				該当/頁	261	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	360		0	0	0	0	360		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			高校生が取り組む地域振興や地域貢献活動など, 高等学校が行う郷土に愛着と誇りを持つ人材の育成に資する事業, 学習活動等を支援することで, 地域に開かれた高等学校を推進する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) ・高校生地域活動支援事業補助金 359,609円 (事業実績) ○広島県立三次高等学校 46,138円 河川環境調査 ○広島県立三次青陵高等学校 199,586円 プログラミング教室開催 ○広島県立日彰館高等学校 113,885円 地域清掃・草刈り活動, 人形劇開催, 「ようこそ先輩」講演開催, 地域住民との交流会開催 (補助要件) ○対象事業 郷土に愛着と誇りを持つ人材の育成に資する事業, 学習活動, ボランティア活動, 福祉活動等 ○対象経費 補助対象事業の運営に必要な消耗品購入費, 通信運搬費, 印刷製本費, 謝礼及び交通費に要する費用等 ○交付限度額 補助対象事業 1 件当たり20万円 高等学校 1 会計年度当たり60万円						
別添資料等 無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか			市内高等学校の生徒が取り組む地域振興・地域貢献に関する活動を支援し, 郷土に愛着と誇りをもつ人材の育成を図った。また, 高校生向けの広報チラシを作成し, 当該高等学校及び生徒への制度周知に努めた。						